

※この記入例は、原単位を基準とした目標削減率を設定している場合のものです。

(様式2)

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

記入例

実施期間		令和6年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		1 蒸気配管の保温材の更新、バルブ・フランジに保温カバーを取り付け（丸亀工場） 2 従業員に対する地球温暖化防止に関する研修（年間2回） 5月10日 100人受講 11月15日 50人受講					
温室効果ガスの排出の量の削減実績	温室効果ガスの吸収等	区 分			実施年度（令和6年度）		
					二酸化炭素換算（t）		
		☑ 森林の整備等			10 t-CO ₂		
		☐ 経済的手法の活用			t-CO ₂		
		グリーン電力証書の購入			t-CO ₂		
		グリーン熱証書の購入			t-CO ₂		
		オフセット・クレジットの購入			t-CO ₂		
		国内クレジットの購入			t-CO ₂		
		J-クレジットの購入			t-CO ₂		
	非化石証書の購入			t-CO ₂			
	合 計			① 10 t-CO ₂			
	温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 （令和3年度）	目標年度 （令和6年度）	対基準 年度比 （%）	実施年度 （令和6年度）	対基準 年度比 （%）
		温室効果ガス 排出量	（二酸化炭素換算（t））② 18,230 t-CO ₂	（二酸化炭素換算（t）） 16,700 t-CO ₂	91.6	（二酸化炭素換算（t））③ 17,509 t-CO ₂	96.0
		☐ 差引排出量 A	（二酸化炭素換算（t））② 18,230 t-CO ₂	（二酸化炭素換算（t）） 16,700 t-CO ₂	91.6	（二酸化炭素換算（t））③-① 17,499 t-CO ₂	96.0
		☑ 原単位排出量 A／B	0.55 t-CO ₂ /百万円	0.45 t-CO ₂ /百万円	81.8	0.54 t-CO ₂ /百万円	98.2
		温室効果ガス排出 量と密接な関係を 持つ値 B	33,000百万円 （生産額）	37,000百万円 （生産額）	112.1	32,000百万円 （生産額）	97.0
	排出量等の 増減理由	〇〇設備を高効率型の設備に更新するなどの取組みを行ったものの、設備トラブルが続いて不良品が多く発生し、生産額が目標額に届かず目標を達成できなかった。 なお、排出係数が下がったことから、総排出量は減少した。					
特記事項		地域住民等との植林活動 地域住民100名と〇〇山において植林活動を実施					

(注)

- 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記載した数値を転記すること。
- 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。
- 「排出量等の増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。
- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記載したもののほか、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。